

平成 26 年度 計画策定部会議事録（要旨）

1. 日 時 第 1 回 平成 26 年 9 月 2 日（火）
第 2 回 平成 26 年 12 月 2 日（火）
第 3 回 平成 27 年 2 月 9 日（月）
2. 委 員 今村部会長、伊東麗委員、千田委員、田中委員、松本委員、毛利委員、
渡辺委員
（オブザーバー）平井委員長、文化庁記念物課、熊本県文化課

3. 審議事項

「特別史跡熊本城跡保存管理計画（案）について」

4. 主な意見

(1) 保存管理の基本方針について

- ・本質的価値を理解するための調査研究体制の充実が必要である。
- ・熊本城跡周辺に分布する歴史遺産等との連携のための総合的な整備の必要性を示しておく必要がある。

(2) 各地区の保存管理方針について

- ・保存管理方針は、本来の史跡としての価値付けに基づいて示すべきである。

(3) 緑の保存管理について

- ・旧城域内の緑の保存管理についての共通理念のようなものがない。
- ・幕末から存在する樹木が史跡に影響を与える場合、どちらが優先されるのかが分からない。
- ・往時から存在していない樹木や史跡に影響を与える樹木などに対し、最終的に剪定や伐採を行う方向性を事務局から示されているが、その前に点検やモニタリングを行ったうえで対応することが重要であり、そういった方針を盛り込む必要がある。

5. 総括

平成 27 年度以降も議論を続け、利活用も多様化していることから、住民の意見も広く聴取する場を設け、市民にも理解しやすいように努めながら、内容を深めていきたい。

平成 27 年度からは、現状変更等の取扱基準や旧城域内における追加指定や将来の公有化についての議論も行うため、事務局には管理団体以外が所有・管理している土地の関係者には丁寧に説明を行ってほしい。